



街から図書館へ繋がる

図書館から街へ繋げる

創刊号

2016 秋号

No.1

(年2回発行)

Life Link Library

品川区立図書館広報誌



特集

寄り道したら、
目的地ができた。

秋×図書館 街とイベントと本のミニガイド
品川区立図書館10館の紹介
品川ゆかりの本 ブック・レビュー

しながわの図書館めぐり
ふぁみりーらいぶらりー
しながわ! 活動レポート/熱血! 新着くん!





図書館で見つけた、気になるトコロ。
図書館から一歩、外へ出してみる。

いざ、目的地へ。

CONTENTS

秋 × 図書館 街とイベントと本のミニガイド

秋を感じよう、秋を読もう

食欲・スポーツ・芸術・読書

しながわ区民公園／子どもが楽しむホッケー教室／品川区民芸術祭／源氏前図書館の入口展示

MAP & 一言PRつき!

品川区立図書館10館の紹介

図書館員が読んだ、選んだ、語った!!

品川ゆかりの本 ブック・レビュー

品川の街と図書館を散歩で楽しむ

しながわの図書館めぐり

第1回 八潮図書館 → 南大井図書館

かもめ橋／モノレール高架下／勝島運河／しながわの鳥たち／浜川砲台／坂本龍馬像／鈴ヶ森刑場跡／しながわ区民公園

家族で楽しむ図書館

ふあみりー らいぶらりー

お役立ち! 読み聞かせ講座 第1回「親子で絵本の読みあいを」
児童コーナー紹介 第1回「品川図書館」

地域 × 図書館

しながわ! 活動レポート

Vol.1 都立大崎高校 ペーパージオラマ部

新着くんと一緒に図書館の裏側を旅する

熱血! 新着くん!

第1話「パニック・裸の新刊」 ～本が図書館の棚に並ぶまで～

「LiLiLi (リー・リー・リー)」

本紙のコンセプトである「街(生活)=Life」「繋がり=Link」「図書館=Library」と、品川区の「品」の両方を表現しました。



広報誌「LiLiLi」は、今、あなたの中で産声を上げました。
品川区立の図書館や本のことはもちろん、美しい街並みや、魅力ある人々など、図書館で繋がる風景もご案内します。毎日を心豊かに、楽しく。
図書館は、いつもあなたのそばにいます。本は、いつかあなたに会いえる時を待っています。
ページをめくると、小さな旅の始まりです。ごゆっくりお楽しみください。

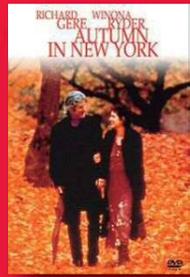
品川図書館長 木村 浩一



【写真上】品川区民芸術祭

の 芸 秋 術
Autumn of Arts

品川区の「芸術の秋」は多彩なイベントが目白押し。区民の皆様は、気軽に文化・芸術を楽しんでもらうことが目的の「品川区民芸術祭」は、今年で7回目の開催です。区民であれば誰でも参加、発表できるので、お知り合いが出演しているかも。応援に行くのも楽しいものになりますね。また、大崎にあるO美術館や、北品川にある原美術館などで秋の訪れを感じてみるのはいかがでしょう。



とにかく綺麗なDVD
 紅葉の映像が

ジョアン・チェン『オータム・イン・ニューヨーク』
 発売元：アスミック・エース株式会社 問合せ番号：1301917871

の 食 秋 欲
Autumn of Appetite

秋は収穫の時期を迎える食物が多く、食欲が増進する季節です。夏の暑さでバテてしまった体調を回復するために、公園でピクニックやバーベキューはいかがですか？

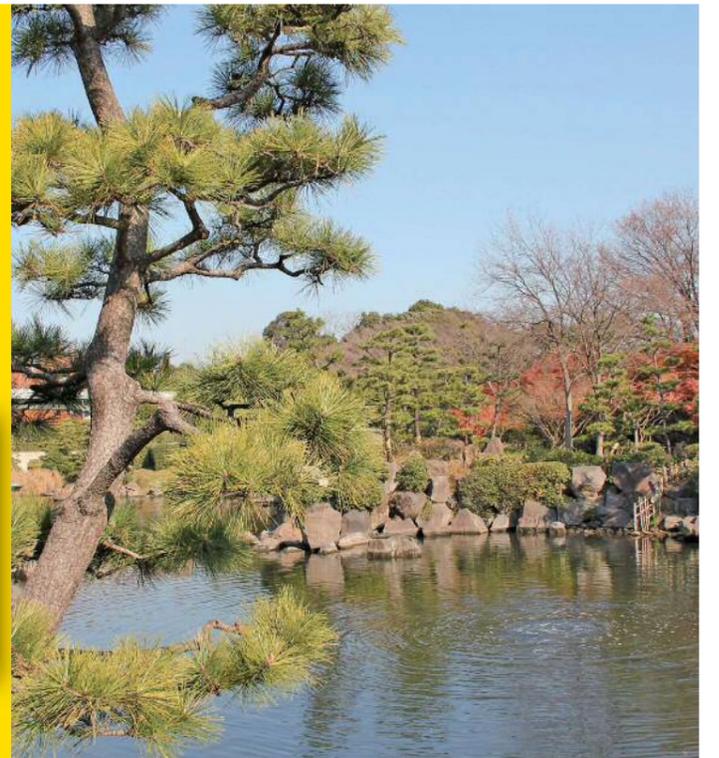
しながわ区民公園には、スポーツ施設やアスレチック、しながわ水族館などがあり、目的にあわせて楽しむことができます。デイキャンプ場でお腹いっぱいになったら、本を片手に広場でくつろぐのもおすすめです。



ほっこりあったか
 美味しい本



【右】岩崎啓子『ごちそうおかずご飯 具だくさんでおかずいらす』河出書房新社 問合せ番号：1101827515
 【左】橋本紡『今日のごちそう』講談社 問合せ番号：1101775300



【写真上】しながわ区民公園 勝島 3-2-2 ☎ 3762-0655

秋を感じよう、秋を読もう

秋 × 図書館 街とイベントと本のミニガイド

【写真下】平成27年度秋の源氏前図書館の入口展示



の 読 秋 書
Autumn of Reading

品川区立図書館の恒例行事「秋の子ども読書の日フェア」を筆頭に、秋は図書館も気合いが入る季節。9月には全館で図書館員のおすすめ本を紹介しつつ、利用者の皆様のおすすめ本をお伺いするアンケートをおこないました。10月は「わ！しながわ」おすすめ大賞」の名のもと、大賞作品に関連した企画展示を実施しています。各館の特色が出る季節展示とあわせて、お楽しみください。



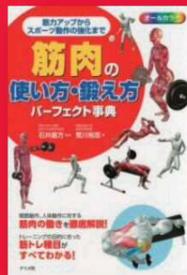
秋の訪れを感じる
 少し切ない文庫本



【右】湯本香樹実『ポプラの秋』新潮社 問合せ番号：1120117439
 【左】森見登美彦『夜は短し歩けよ乙女』株式会社 KADOKAWA 問合せ番号：1101436621

の スポーツ 秋
Autumn of Sports

リオデジャネイロでの感動の夏がおわり、いよいよ2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、スポーツ熱が高まっていく頃ではないでしょうか。品川区では、潮風公園でビーチバレーボール、大井ふ頭中央海浜公園でホッケーが開催予定です。この機会にスポーツをはじめてみたい！「自主練習の場所を探している！」家の近所で身体を動かしたい！など、ますます高まるその熱を区内のスポーツ施設で発散しましょう。



気づいたら身体を
 動かしていた本



【右】堂場瞬一『ターンオーバー 堂場瞬一』角川春樹事務所・ハルキ文庫 問合せ番号：1120061206
 【左】荒川裕志『筋肉の使い方・鍛え方パーフェクト事典』ナツメ社 問合せ番号：1120167384



【写真下】子どもが楽しむホッケー教室

01 品川図書館 京浜急行 新馬場駅より約3分



品川図書館は、区内で一番大きな図書館です。小説や文庫などの一般資料、児童・ティーンズ向けの資料、活字を読むことが困難な方のための障害者用資料、CD・DVDなどの視聴覚資料、雑誌、新聞、地域資料、参考資料など、約40万冊の資料を幅広く所蔵しております。皆様に合った資料がきっと見つかりますので、ぜひご来館ください。

02 二葉図書館 東急大井町線 下神明駅より約1分



二葉図書館は、東急大井町線の下神明駅を降りてすぐにある落ち着いた雰囲気のある図書館です。特に児童コーナーは静かで、お子さんと安心して本に親しむことができますし、また、窓に面した10席の一般閲覧席、5席の持ち込みパソコン席は、気持ちのよい「第二の書齋」として利用していただけます。

03 荏原図書館 東急池上線 荏原中延駅より約5分



荏原図書館は、昨年に耐震改修工事を終えたばかりのきれいな図書館です。区内の障害者福祉施設で製作したしおりやブックカバーなどを販売しており、また、書籍消毒器やデジタルサイネージで申し込みが出来る閲覧席など、他の図書館にはないサービスもご用意しています。ぜひ一度お越しください。

04 南大井図書館 京浜急行 大森海岸駅より約7分



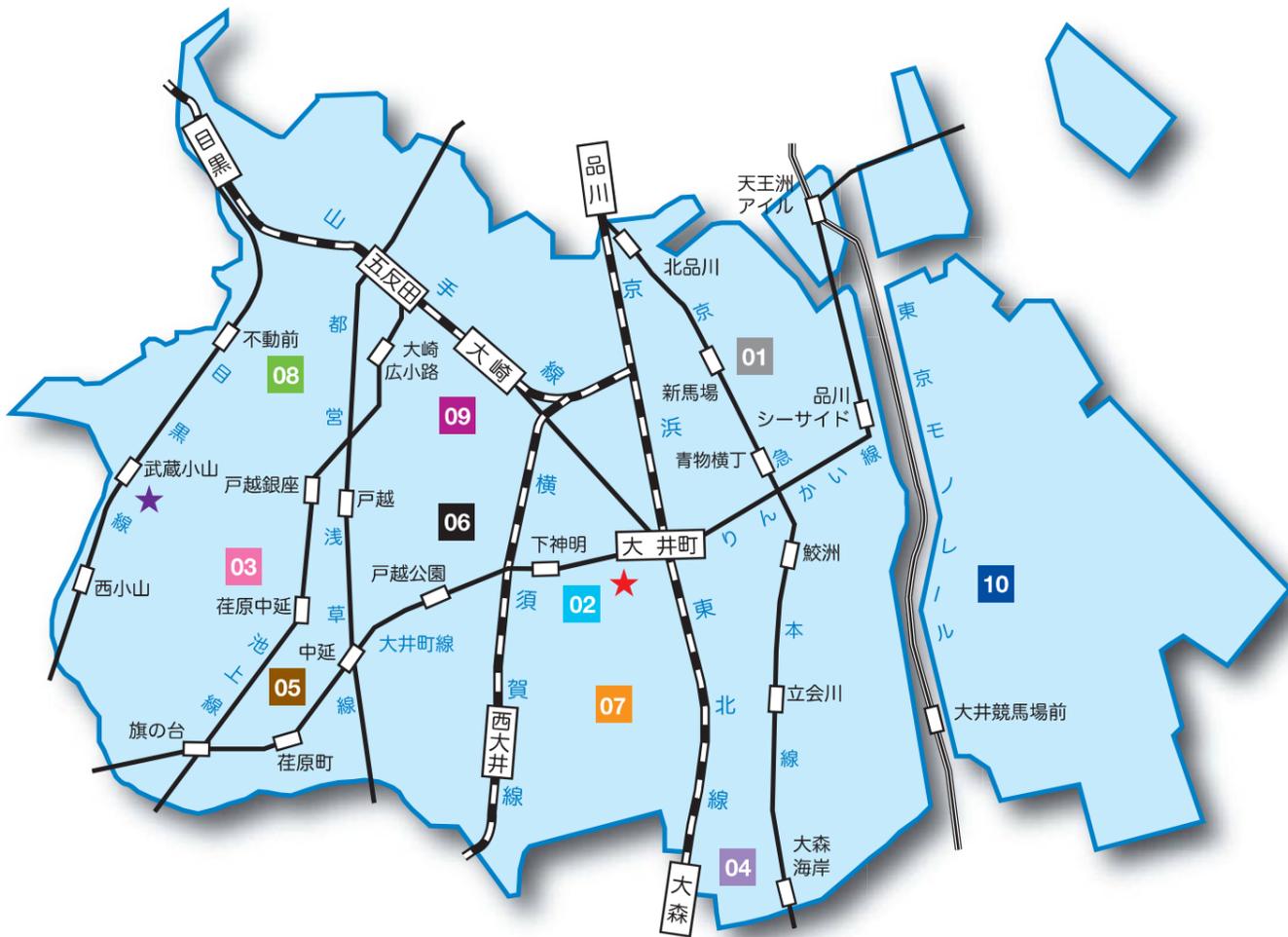
南大井図書館は、京浜急行・大森海岸駅から徒歩7分、JRの大森からも徒歩10分ほどの複合施設の4階にある図書館です。近隣にしがわ水族館があることから、水族館・水の生き物に関連した資料が充実しています。児童コーナーにはカーペットを敷いており、靴を脱いでゆっくりと本を楽しめます。

05 源氏前図書館 東急大井町線 中延駅・荏原町駅より約5分



源氏前図書館は、中延駅と荏原町駅の間に保育園と併設した図書館です。小さい図書館のため、同じテーブルに児童も高齢のかたも一緒になって本を読んでいるアットホームな光景がよく見られます。また、展示力を入れており、1階入口のディスプレイや館内展示は毎月ご好評の声をいただいています。

品川区立図書館 10館の紹介



品川区には全部で10館の図書館と、資料の返却および予約資料の受取貸出のできる2つのサービスコーナーがあります。個性や特色の違うそれぞれの館に、ぜひ一度は足を運んでみてください。通勤・通学の行き帰りに、街歩きの際に、来館をお待ちしています。

- 01 品川図書館 北品川2-32-3 ☎3471-4667 Fax 3740-4014
- 02 二葉図書館 二葉1-4-25 ☎3782-2036 Fax 3782-9430
- 03 荏原図書館 中延1-9-15 ☎3784-2557 Fax 3784-8951
- 04 南大井図書館 南大井3-7-13 ☎3761-6780 Fax 3768-7976
- 05 源氏前図書館 中延4-14-17 ☎3781-6273 Fax 5702-4190

★大井町サービスコーナー 大井 1-2-1 大井町駅ビル「アトレ」中央西口階段下 ☎3777-0050

- 06 ゆたかな都会のオアシス 豊町1-17-7 ☎3785-6677 Fax 5702-4035
- 07 大井図書館 大井5-19-14 ☎3777-7151 Fax 3777-4970
- 08 五反田図書館 西五反田6-5-1 ☎3492-2131 Fax 3492-4995
- 09 大崎図書館 大崎2-4-8 ☎3495-0660 Fax 3493-9979
- 10 八潮図書館 八潮5-10-27 ☎3799-1414 Fax 3790-3442

★武蔵小山サービスコーナー 小山 3-27-5 武蔵小山創業支援センター4階 ☎5749-0050

【開館時間】月曜日・土曜日：9:00-20:00 / 日・祝日：9:00-19:00
【休館日】第2木曜日・特別整理期間・年末年始

【サービスコーナーの取扱時間】月曜日・金曜日 8:00-19:00 土・日曜日 10:00-15:00
【休日】国民の祝日（祝日が日曜日の場合、振替休日は10:00-15:00開業）
※上記に加え、荏原・五反田図書館は第4月曜日、八潮図書館は年4日程度施設点検のため休館

06 緑ゆたかな都会のオアシス ゆたかな図書館 東急大井町線 戸越公園駅より約7分



ゆたかな図書館は、戸越銀座商店街の近く、文庫の森公園・戸越公園に囲まれた、都会のオアシスのような環境です。1階と2階で一般・児童のコーナーが分かれており、ゆっくりとした時間を過ごすことができます。これから地域に根付いた展示や連携をしていきますので、ご期待ください！

07 歴史スポットに囲まれた池上通り沿いの図書館 大井図書館 東急バス 大井第一小学校より約2分



大井図書館は、JR大井町・西大井・大森各駅からバスで数分、滝王子児童センターに併設した図書館です。区内で2番目に多い児童書の所蔵を誇るほか、周辺には品川歴史館や鹿嶋神社、大森貝塚遺跡庭園などの名所旧跡が近在しています。家族連れの方も歴史好きの方も、是非一度はお越し下さい。ご来館をお待ちしています。

08 星にいちばん近い図書館！ 五反田図書館 東急目黒線 不動前駅より約7分



五反田文化センター2階にある五反田図書館は、同施設内に音楽ホールやプラネタリウム、小学校・保育園・幼稚園があることから「音楽」「天文」「子育て」に力を入れている図書館です。中でも「子育て支援コーナー」では、参考になる本を数多く揃えております。お子様とご一緒にぜひお立ち寄りください。

09 ビジネスパーソンが通いやすい図書館 大崎図書館 JR・りんかい線 大崎駅より約5分



大崎図書館の最大の特徴は「ビジネス」です。近隣に会社が多いことから、多くのビジネスパーソンが来館されます。2階にはビジネスコーナーが設けられており、ビジネス関係の書籍、雑誌、新聞の他にデータベースが使用できるパソコンがご用意されています。また、子育て支援にも力を入れた運営を行っております。

10 海と緑に囲まれた図書館です 八潮図書館 都営・京急バス八潮パークタウンより約1分



八潮図書館は、大井町駅からバスで約15分、八潮パークタウンを降りてすぐの図書館です。30年ほど前に建てられた館内では、地域の方々がゆったりと1日を過ごしています。近くには京浜運河沿いの公園や大井ふ頭中央海浜公園もありますので、散歩がてら図書館に寄ってみたいいかがでしょうか。

品川図書館 おすすめの1冊

01 岩本素白
『東海道品川宿
岩本素白随筆集』
ウェッジ
問合せ番号：1101330435

二葉図書館 おすすめの1冊

02 村上春樹
『東京奇譚集』
新潮文庫刊
問合せ番号：1101322550

荏原図書館 おすすめの1冊

03 最相葉月
『星新一
一〇〇話をつくった人』
新潮社刊
問合せ番号：1101248707

南大井図書館 おすすめの1冊

04 村松友視
『時代屋の女房・泪橋』
株式会社KADOKAWA
問合せ番号：1100107828

源氏前図書館 おすすめの1冊

05 加藤郁乎
『俳の山なみ
粹で洒落な風流人帖』
角川学芸出版
問合せ番号：1101499089

知る人ぞ知る国文学者の名随筆



早稲田大学で長年教鞭を執り、日本ではじめて随筆講座を開いた岩本素白は、文人にして、散歩の達人でした。幼少期を過ごした明治の品川の思い出を綴ったこの本を手にも、旧東海道を歩くと、平成の路地裏のそこかしこに、未だ往時のよすがを感じられる気がします。多くの方に読まれてほしい一冊です。

あの村上春樹が舞台にした品川区役所



全5篇の収録作の中でも、ここで推したいのは「品川猿」です。品川区役所が主要な舞台となっています。なんとも奇妙で不思議な味のする短篇になっており、主人公はなんと品川区の下水道に潜伏していた猿に名前を盗まれてしまった女性です。なんのこじやら……とお思いになる方は、ぜひ一読をお薦めいたします。

戸越に住んでいたショートショートの様



製薬会社社長の御曹司として生まれた星新一。父・一は荏原にある星薬科大学創設者で、自身も長く戸越銀座に住んでいた品川とゆかりの深い作家です。小説の方もご紹介したいのですが、ここでは彼の生涯と実像に迫った、講談社ノンフィクション賞ほか多数の賞を受けた傑作評伝をお薦めいたします。

舞台は大井と立会川 淡い昭和の人間模様



直木賞受賞作『時代屋の女房』も、大井を舞台にしたご当地ものですが、よりお薦めしたいのが併録の『泪橋』。立会川周辺を舞台にした中篇で、30年以上前に発表された作品ですが、読んでから歩くと、今も小説に書かれた情景と雰囲気はまだ色濃く残っているのがわかり、新鮮な発見があります。

旗の台を終の住処とした豪放磊落の文人



加藤郁乎は仏文学者の澁澤龍彦や画家の池田満寿夫らと親交の深かった俳人。初期はモダンで前衛的な句で知られましたが、晩年は江戸趣味に傾倒、旗の台を終の住処とし、この地で没しました。中原街道沿いの街に残る情緒に感応したのかもかもしれません。品川ゆかりの文学者の1人として挙げさせていただきます。

図書館員が読んだ、選んだ、語った！！

品川ゆかりの本 ブック・レビュー

ゆたか図書館 おすすめの1冊

06 星野博美
『戸越銀座で
つかまえて』
朝日新聞出版
問合せ番号：1101931238

戸越銀座は可笑しく、深く、そして優しい



「一人暮らしに敗北した」フリーライターの著者が実家に戻ることを決心。「転がる香港に昔は生えない」でデビュー後、長らく世界を股に取材を続けてきた著者が、19年ぶりに帰った故郷・戸越銀座。研ぎ澄まされた人間観察と内省に笑いながら胸打たれること必至。読むと本当に元気が出る作品です。

大井図書館 おすすめの1冊

07 大橋鎮子
『暮らしの手帖』と
わたし』
暮らしの手帖社
問合せ番号：1101580838

『とと姉ちゃん』のモデルは大井ゆかりの人



雑誌『暮らしの手帖』の編集者・エッセイストであり、NHKの連続テレビ小説『とと姉ちゃん』のモデルとなった大橋鎮子。彼女は大井第一小学校の出身で、90歳を越える生涯の大半を大井で過ごしました。現在多数の関連本が出ていますが、その中から自伝をお薦め本として挙げさせていただきます。

五反田図書館 おすすめの1冊

08 前田司郎
『生きてるものは
いないのか』
白水社
問合せ番号：1101363534

五反田生まれの劇作家の岸田国土賞受賞作



前田司郎は、劇団『五反田団』主宰の劇作家・俳優にして小説家。今最も油の乗り切った書き手の1人ではないでしょうか。そしてなにより、劇団名に地元愛を感じます。若手の作家はあまり読まない、戯曲なんてほとんど借りない、という方にもお薦めしたい、ゼロ年代の傑作です。

大崎図書館 おすすめの1冊

09 池波正太郎
『仕掛人・藤枝梅安
殺しの四人』
講談社
問合せ番号：1100640048

平塚在住の江戸の凄腕ヒットマン



品川区で後半生を送った池波正太郎の作品の中でも、とりわけ品川が重要な舞台として登場する連作集の第1巻。主人公・梅安の住居は品川台町、今の平塚の辺りで、中原街道や五反田の雉子神社、目黒不動など、区内の名所が頻りに出てきます。時代小説の巨匠の絶筆となったシリーズでもあります。

八潮図書館 おすすめの1冊

10 河原雅彦
『ピカ☆ンチ
LIFE IS HARD BUT HAPPY』
竹書房
問合せ番号：1100907816

八潮は隠れた巡礼の地



こちらの本は映画『ピカ☆ンチ』シリーズのノベライズ版になっています。八潮にあるパークタウンを舞台にした作品になっており、作中では八潮ならぬ「八塩団地」として登場、撮影も行われました。自虐と愛情をこめて描かれる八潮界隈の様子は、発表から10余年経た今もその当時とあまり変わっていません。

モノレール高架下

かもめ橋より徒歩1分

JR、私鉄の駅から遠い八潮図書館ですが、バス以外の公共機関での最寄り駅は東京モノレールの大井競馬場駅です。都内でいちばんモノレールに近い図書館かもしれません。勝島側では、橋のすぐ真上をモノレールが通り、迫力満点!



かもめ橋

八潮図書館より徒歩2分

図書館の建物を出て左手にまっすぐ進むと、八潮と勝島を結ぶかもめ橋が見えてきます。晴れた日には、レインボーブリッジや東京スカイツリーも見えます。映画などの撮影地にもなっています。



勝島運河

モノレール高架下より徒歩5分

「しながわ海道」とも呼ばれる勝島運河は、春になると桜や菜の花が、秋にはコスモスが一面に広がります。晴れた日には富士山も見える、区内屈指の隠れた絶景スポットです。



しながわの鳥たち

勝島運河より徒歩0分

勝島運河は花だけではなく、冬にはユリカモメなどの鳥たちが集まり、一年をとおしてたくさんの動植物を見ることができます。写真の右側にユリカモメと一緒に写る黒い鳥はいったい?!



八潮を歩く

東京モノレール株式会社/監修 『東京モノレールのすべて』 戎光祥出版 問合せ番号: 1120163179

1964 (昭和 39) 年の開業から 50 周年を迎えて刊行された記念企画本。創業以来の全駅や全車両の写真・図面・年表、また各駅の成り立ちから、沿線の周辺情報までを詳しく紹介。路線沿いの風景の変遷を時代ごとに辿る写真やトリビアも満載で、机上のタイムトラベルも楽しめる一冊。



南大井を歩く

岡田直/監修 『京急沿線の不思議と謎』 実業之日本社 問合せ番号: 1120159095

大手私鉄の謎や不思議を紹介する「沿線の不思議と謎」シリーズの第5巻。沿線の町の変遷や新名所巡り、駅員さんに聞く京急電鉄の秘密や地名の由来など、京急沿線がもっと好きになる知的案内本。地理と歴史にまつわる雑学が散歩のお供に最適な一冊。鉄道ファンでない方も面白く読めます。

しながわの図書館めぐり 第1回

八潮図書館 → 南大井図書館

第1回は湾岸沿いの2館を結ぶ区内の散策ルートをご紹介します。工場や倉庫に囲まれたエリアから少し足を延ばせば、緑豊かな公園と、由緒ある史跡の数々を目にすることができます。図書館の利用カードは区内全館共通です。みなさんも散歩を楽しみながら、品川の街と図書館をめぐってみませんか?

坂本龍馬像

浜川砲台から徒歩3分

土佐藩下屋敷のあった立会川は、あの坂本龍馬が若き日を過ごした由緒ある土地。そのため、商店街は街をあげての龍馬推し、北浜川児童遊園に立つ龍馬像も、静かに平成日本を見守っています。今にも土佐弁が聞こえてきそうですが、ここは品川。



浜川砲台

勝島運河沿いに徒歩1分

勝島運河に沿って間もなく現れる新浜川公園。この近辺は幕末に土佐藩が海岸護衛の砲台を築いており、昨年11月、当時の砲台が原寸大で復元されました。全長3m、重さ30ポンド。もちろん弾は出ませんが、一見の価値あります。



鈴ヶ森刑場跡

坂本龍馬像から徒歩10分

1654 (慶安 4) 年に開設された鈴ヶ森刑場。八百屋お七や鼠小僧次郎吉 (異説あり) が刑死したこの地には今も首洗いの井戸や火炙台・磔台の跡などが残り、近くの大経寺には、ここから発掘されたドクロや処刑の絵などが保存されています。

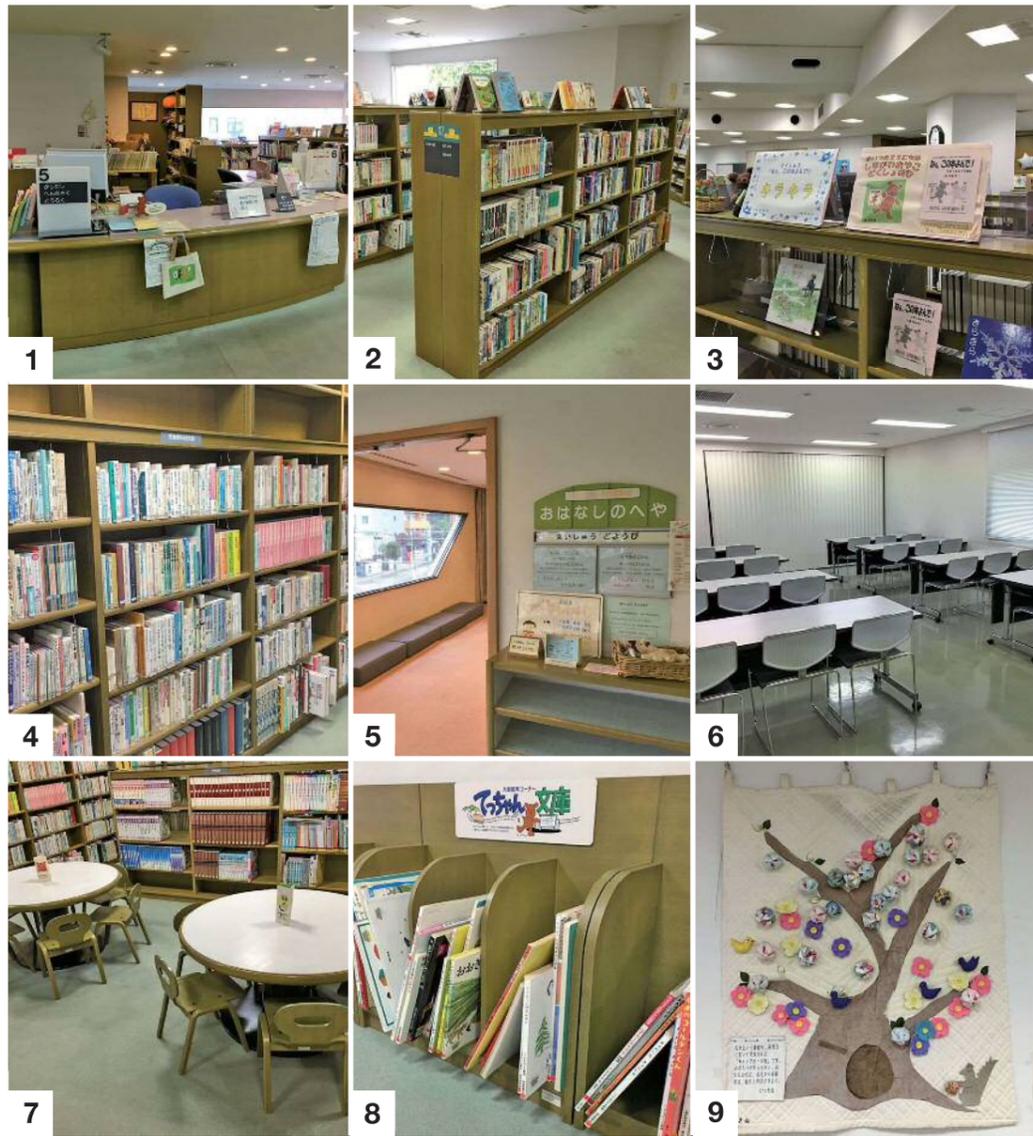


しながわ区民公園

鈴ヶ森刑場跡から徒歩5分

大井競馬場のすぐ裏側にある緑が豊かな公園です。運動施設やデイキャンプ場もあります。公園を鈴ヶ森方面に抜けて、第一京浜沿いに出ると、南大井図書館はすぐそこです!





- 1 児童カウンター**
資料の貸出・返却はこちら！
- 2 ティーンズコーナー**
ティーンズコーナーも区内で一番充実。
- 3 特集コーナー**
テーマ、行事・季節にあった本を展示。旬な本が勢ぞろい。
- 4 児童資料研究書**
品川図書館にだけ！児童書に関する研究資料。
- 5 おはなしの部屋**
広いお部屋でゆったりと読書。おはなし会も開催！！
- 6・7 多目的室と閲覧席**
読書・勉強のためのお部屋と、かわいい閲覧席。
- 8・9 他にも**
……いろいろ！
大型絵本のコーナー。目を引く季節折々の展示物も。

家族で楽しむ図書館



品川区子ども読書活動推進PRキャラクター
ブックマくん

ふぁみりー らいぶらりー FAMILY LIBRARY



品川区子ども読書活動推進PRキャラクター
しおりちゃん

「図書館は静かで、堅い雰囲気……」「子どもと一緒に訪れにくい……」
そんなイメージをお持ちではありませんか？
実は図書館は、小さなお子さんから、小・中学生、そしてパパ、ママ……
家族みんなが一緒に楽しめる、サービス満載の素敵な場所です！

お役立ち！ 読み聞かせ 講座

第1回 《親子で絵本の 読みあいを》

ご家庭でお子さんに絵本を読んでもあげていきますか？ お子さんの身近なところに、絵本はかかれていますか？ 子どもにとって絵本は、生まれて初めて出会う本です。大人が読んであげなければ、子供は絵本に出会う事ができません。絵本は、言うまでもなく、画家や作家が心を込めて作り上げた一つの芸術作品です。小さい時から是非出会わせたいものです。

赤ちゃんの頃から絵本に馴染んでいると、二歳くらいになると自分で絵本を開いて、声に出して読んでいる姿を見かけるようになります。字を読んでいるというのではなく、お気に入りのページを開いて、お気に入りのせりふなどを言っているのです。そんな姿を見かけたら、「○ちゃん、私にも絵本読んでちょうだい」などと声をかけると、きつと喜んで読んでくれるでしょう。いつも自分が読んでもらって楽しいことを知っていますから。大人の真似をして、かわいらしい声で読んでくれる姿は、本当に愛らしいもので、心が和みます。読んでもらったお礼に、今度は自分が1、2冊読んであげましょう。お風呂上りにとか寝る前などに約束しておくのもいいと思います。その分、子供にとって、楽しみを待つ心が育つのではないのでしょうか。



山本 典子
(元NPO法人理事長)

児童コーナー 紹介 第1回 品川図書館

品川区立図書館全館にある児童コーナー。絵本や物語、知識の本はもちろん、普段はなかなか目にするのできない大型絵本など、図書館ならではの本がたくさんあります。各図書館、子どもたちが楽しめるような展示をしたり、特集をしたりと、工夫がいっぱいです。また“おはなしの部屋”も図書館によってその雰囲気はさまざま……。そんな各館の個性豊かな児童コーナーを順番にご紹介していきます！

図書館 サービスの ご案内

★おはなし会
毎週、区立図書館全館で開催中です！

※各図書館の詳しい開催日時については、別途おはなし会のチラシをご覧ください。ただ、区立図書館ホームページをご覧ください。

★ブックリスト
図書館オススメ本を紹介したブックリストを区立図書館で配布しています！
区立図書館ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

★はじめてのえほん
よんで よんで
4カ月健診を受けられたお子さまに、乳幼児向けの絵本やブックリストをお渡ししています！
※絵本は引換券との交換となります。

★その他
図書館の利用カードは、0歳からつくることができます。
また、小学校・義務教育学校1年生までのお子さまが利用カードを作ると、黄色い図書館バッグをさしあげます！



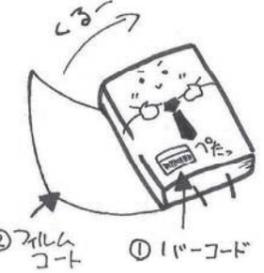
★図書館新入物語★

熱血! 新着くん!

新着くん 第1話 パニック・裸の新刊 ～本が図書館の棚に並ぶまで～ 先輩さん

「ボクは刷られたばかりの新刊本! 本屋さんから図書館へ納品されてきたんだ!」

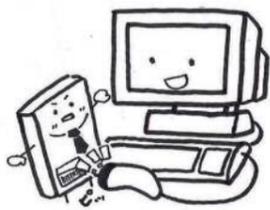
「なんや、新入りか」「あなたは誰?」「図書館に来てはや3年。50回も貸出されとるベテランや。先輩と呼んでもええんやで」「先輩!」「さんをつける“さん”を」「先輩さん!」「せや」「先輩さん、なぜボクが新入りだとわかったんですか?」「自分、裸やないか」「ボク裸なんですか!? 恥ずかしい!」「あっちで職員さんに



「装備してもらってき」

「装備? いったいこれは?」「本屋で売られてる姿のままやったら、すぐポロポロになって図書館での人生をまっとうできひんで。いろんなひとの手にわたって何回も読まれんねんからな」「なるほど、それでこんなにしっかりしたビニールを着せてくれたんですね!」「自分も図書館の本の一端やったら**フィルムコート**って呼びや」「フィルムコート!」「せや」「フィルムコート!」「やかましい!」「バーコードも装着されました!」「図書館で貸出される時はそのバーコードがスキャンされるんや」「これでやっとボクも貸出されるんですね!」「いやいや。早い早い。そのバーコードはまだ見かけだけのコケおどしや。職員さんに**受入**してもらい」

「はぁぁん。身体に情



報が流れこんでくる! これは?」「所蔵として登録することを受入言うねん」「さっぱりわかりません!」「自分についてるバーコードと**書誌情報**をひもつけたんや」「書誌って何ですか?」「何も知らんねんあ、自分。書誌はな、本のタイトルや著者、刊行年なんかの情報をまとめたデータのことや」「データのことですね! うん! わかりません!」「晴れて図書館の所蔵になったっゅーこっちゃん!」「やったー!」「受入されて初めて図書館ホームページの新着資料にも掲載されるねん」「みんながボクのことを図書館の本として見てくれるんですね!」「せや。自分はもう新着本や。新着くんや!」「なるほど! ボク新着くん!」

こうして、ただの新刊本であった本が図書館所蔵の新着くんとなった。新着くんはこの先どのような体験をするのだろうか。

——新着くんの旅はまだ始まったばかりだ!

先輩さん! 「**新刊**」と「**新着**」って何が違うんですか

おお、新着くん。ええ質問や。出版社から新しく出版された本のことを一般的に「**新刊**」言うんやけど、図書館に入ってくる本は新しく出版されたものだけとは限らんやろ。新しい本やないけど調べ物の参考になるから買ったりすることも多いんや。一般的な新刊と図書館に新しく入った本を区別した呼び方やな。

編集 後記

■本誌を通じて、図書館をあまり利用されない方も、良く利用される方も、図書館をより身近に感じて頂けるような、「繋がり」のきっかけづくりをしたいという想いから創刊しました。是非、これからもご愛読頂ければ幸いです。(品川・M)

■初めての経験で苦勞も多くありましたが、創刊号の作成に携われたこと、皆さんに読んで頂けることを嬉しく思います。(品川・K)

■読んでみようと思ってもらえるような紙面を作るにはどうしたらよいか、考え抜きました。多くの方の目に留まってほしいなと思います。(品川・Y)

■「LiLiLi」を通じて、図書館と品川区のことをたくさん発信していきます。皆様のライフスタイルに寄り添えることを願って。(源氏前・O)

■本誌を読んで品川の図書館と地域をより好きになってもらえたら幸いです。年2回の発行になります。次号もぜひお楽しみください。(ゆたか・Y)

■創刊号であり、また歴史ある品川区立図書館広報誌の復刊となった今号、如何でしたでしょうか? 次号もご期待ください。(大井・T)

■新着くん「ライフ・リンク・ライブラリーって名前、長くないですか?」先輩さん「リー・リー・リーと呼んでもええんやで」(五反田・O)

■時間がかかりましたが、無事に完成させることができました。本誌が多くの方に喜んでいただけることを願っております。(大崎・K)

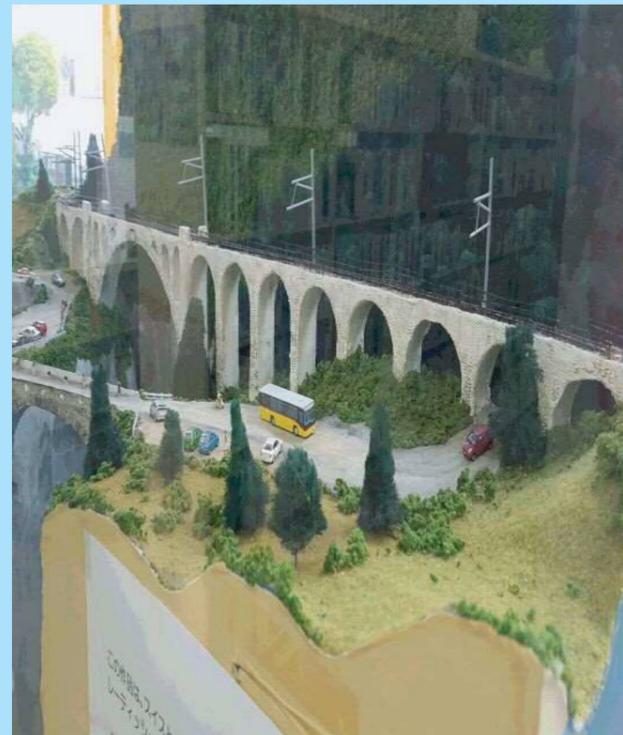
■昨今の頃からメンバーが集まり形にしたこの冊子で、時代とともに変化する図書館の新たな一面を感じ取っていただけると幸いです。(八潮・N)

品川区立図書館広報誌『LiLiLi』のご意見・ご感想お寄せください。区内10館のカウンターでお待ちしております。

地域×図書館 しながわ! 活動レポート

Vol.1 都立大崎高校 ペーパージオラマ部

このコーナーでは、図書館、本、読書などとの繋がりがある品川区内の地域活動にスポットをあてて紹介していきます。第1回は、7月にゆたか図書館において、全国高等学校鉄道模型コンテストで最優秀賞獲得の作品「スイスの山の鉄道風景」の展示をさせていただいた、都立大崎高校ペーパージオラマ部を紹介します。山や街などの風景を模型でリアルに表現するジオラマを、その名の通りなんとすべて紙を使って製作しています。どのような考えをもって活動しているのか、顧問の庭野先生、部長の谷島さん、副部長の村石さんにお話を伺いました。お話を通じて、コンテストはもちろん、その先まで見据える姿勢が伝わってきました。



Q: ペーパージオラマ部の活動内容と活動を通してこれまで得たものはありますか?

A (副部長・村石さん): ジオラマ作成にあたって、可能な限り実際に作品のモデルとなる地域に向いて取材を行います。ただ景色を見るだけでなく、現地の方にお話を聞くことで見えてくることもあるからです。多くの人と関わりを持つ中で、ジオラマ製作の技術はもろろ、コミュニケーション能力も身に付けることができたと感じます。完成した作品がコンテストで入賞したときも嬉しいですが、取材に協力していただいた方々に作品をみて喜んでくれたときはもっと嬉しいですね。

Q: 作品を製作するにあたり心掛けていることはありますか?

A (部長・谷島さん): 作品は決定的な必要はないと思っ

【写真左】全国高等学校鉄道模型コンテスト・最優秀賞を獲得した作品「スイスの山の鉄道風景」。ゆたか図書館での展示(2016年7月)。
【写真右】左から、顧問の庭野先生、村石副部長、谷島部長。
【写真下】ゆたか図書館のレファレンスを活用し、製作された作品「たまプラーザ50年の夢」の50年前のたまプラーザの風景。都立大崎高校文化祭で展示されました。

て、見ている人が楽しめるようなものや、見どころのあるものを作りたいと思っています。また、取材に協力してくれた方々の温かい思いを、作品に丸みを持たせるなどして工夫を凝らし、ジオラマで表現することもあります。ペーパージオラマ部の活動では、取材に行っても色々な人と話ができたり、様々な場所(スイス大使館やフジテレビなど)で展示してもらったりなど、他の部活ではなかなか経験できないことができるので、とても楽しいですし、自信にもつながります。

Q: 地域との関わりを積極的に持っていらっしゃいますか?

A (顧問・庭野先生): 作品を作り、大会に出ることだけが目的というわけではありません。ジオラマ製作に関わってくれた方々への恩返しがい、という思いを常に持ち続けながら活動しています。また、このペーパージオラマ部は、生徒たちが部活動を通して、社会に出たときに役立つような力や自信をつけさせたいという思いで始めました。地域との関わり合いを持つ中で、作品を見て喜んでくれたり、ジオラマの良さを伝えることができたこと、色々な人と交流を積み重ねることによって、それが生徒たちの成長にもつながっていくのかな、と思っ



部活動の中で、ただ作品をつくるのではなく、そこから様々なつながりが生まれていくこと、そのつながりを通して成長していけるというお話がとても印象的でした。

また、今回のインタビューの中で、ゆたか図書館での展示について庭野先生に「作品だけでなく、製作過程も展示してもらえたので、作品の裏側も知っていただけたのでは」と言っていました。

今後も、都立大崎高校ペーパージオラマ部と品川区立図書館で交流を持ち、区民の皆様にお互いをより知っていただけたらと思っています。



【に】終わりの



目的地からの帰りも、目的地。



品川区立図書館広報誌「LiLiLi (リー・リー・リー) ~ Life Link Library ~」

創刊号 (2016 秋号) No.1 (年2回発行)

発行：品川区立図書館

(代表：品川図書館 ☎ 3471-4667 Fax 3740-4014 北品川 2-32-3)

本紙に掲載している表紙絵・写真は、各出版社等の許諾を得て使用しています。



品川区立図書館
ホームページへ！
「LiLiLi」特設ページ
公開中！